

無断での録画・録音はやめましょう。
また、第三者への提供や第三者が閲覧可能な形で
アップロードすることは厳禁です（図書館追記）

オンライン授業を録画しよう！

オンライン授業に対してネガティブな印象を持っている学生も多いようですが、オンライン授業はデメリットではありません。オンライン授業の最大のメリットの1つは**録画ができる**ということです。録画をしておけばいつでも復習ができますし、ノートをとることに集中し過ぎて先生の話聞き漏らした、なんてこともなくなります。オンライン授業の特性を十分に活かして効果的に学習を進めましょう。



Microsoft Teamsは録画に適したツールです。ここでの会議(授業)は録画をすると自動でクラウドに保存されます。自分のパソコンの容量を気にしないでいいのでとても便利です。



zoomにも録画機能が備わっています。ただし録画をするには会議のホストから許可を貰う必要があります。担当の先生に許可を取れば録画ができます。録画はPC上に保存されます。

録画機能は便利ですが、多くの学生が個別に録画の許可を求めると担当教員の手を過度に煩わせることとなります。学生数の多い講義で録画を残したい場合は学生が録画をするのではなく、**担当教員に録画をしてもらい、全ての受講生がアクセス可能な場所のアップロードしてもらえないか打診する**のがいいでしょう。

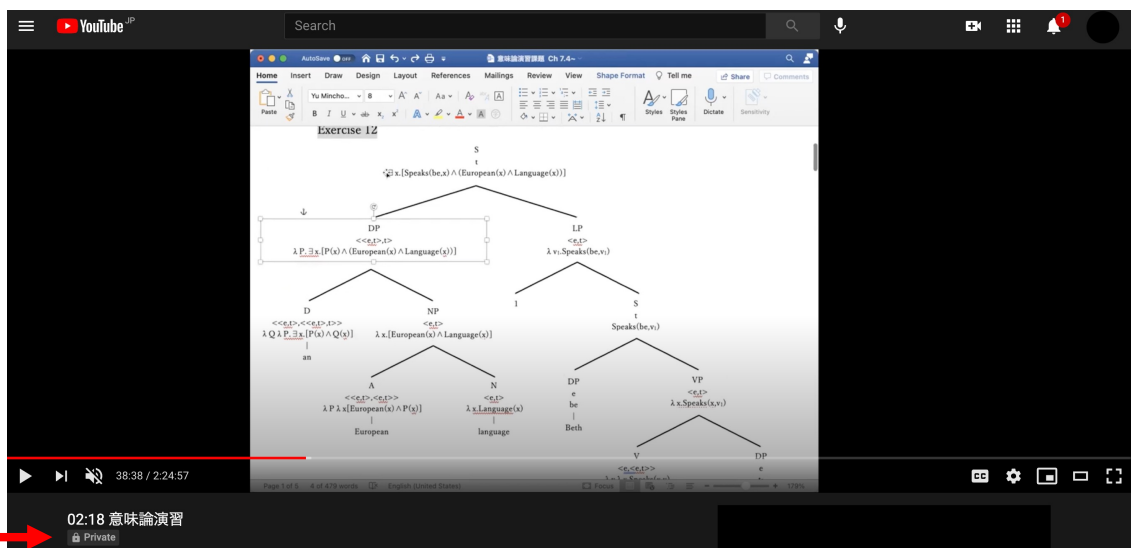
また、教員によっては「いちいち聞かなくても勝手に録画してもいいよ」と言って下さる場合もありますが、先ほど述べた通りホストの許可がないと録画はできません。そういった場合は外部の録画ツールを使用して録画するとホストの許可無しに録画をすることができます。**ただし、この方法は担当の教員から「録画してもいいよ」と言われた場合にのみ行って下さい**。無断での録画・録音はやめましょう。



外部の録画ツールは有料のものから無料のものまで色々あります。有料版を買う際はそのアプリが自分のパソコンのバージョン等に対応しているか事前に確認するようにしましょう。ここでは1つ無料の外部ツールを紹介しておきます。

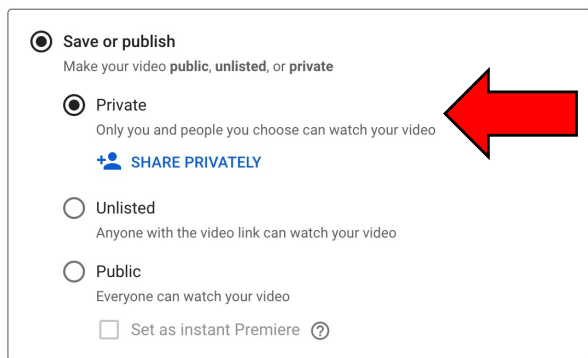


Movavi Screen Recorder 21は無料のお試し版でも長時間の画面録画を行うことができます。パソコンのバージョンやメーカーによっては使用できない場合もありますのでご注意ください。

Teamsの場合はクラウド上に保存されますので保存、公開に関して特に問題はないでしょうがzoomの場合は録画はパソコンの中に保存されます。そのため、多くの授業を録画するとパソコンの容量がいっぱいになってしまいます。この問題は録画した動画をYouTubeにアップすることで解決できます。



YouTube上へアップロードするには。まずは画面上部の  **CREATE** または  というボタンを押します。あとはアップしたい動画を選択するだけです。



細々とした設定がいくつかありますが、重要なのは**公開設定**と**動画の対象**です。公開設定に関しては、一般公開してしまいますと誰でも見られる状態になってしまいますので**Private**にチェックをつけて保存するようにしましょう。

Private公開になっているかは公開後にも確認するようにして下さい。

動画の対象に関しては「**子ども向けではありません**」にチェックをつけましょう。「子ども向け」の動画として公開してしまうとコメントができなかったり、ケータイから視聴する際に少し不都合が生じる場合があります。

- Yes, it's made for kids
- No, it's not made for kids

※アップロードには時間がかかります。